

maxell

取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー

形名 **BD-PL110**



DOLBY
TRUEHD

dts
2.0+Digital Out

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Blu-ray Disc

BONUS VIEW™

DVD
VIDEO™

RW
COMPATIBLE

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

AVCREC™

AVCHD™

Java
POWERED

x.v.Color

このたびはブルーレイディスクプレーヤーをお買い求めいただき、ありがとうございます。

最初に

この取扱説明書に記載の「安全上のご注意」(p.4～8)をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
取扱説明書と保証書は大切に保管してください。



この取扱説明書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」、「本体」とは「お使いのプレーヤー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 本機や本機の操作画面などで「ブルーレイディスク」を「BD」と表現していることがあります。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 本書では専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「用語説明」(p.53)をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

説明で使用するマークの意味


ご注意

本機を使う際に、気をつけていただきたい情報です。


メモ

本機を使う際の、補足説明やお知らせです。

■ 本機で使えるメディアとファイル形式

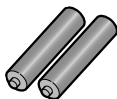
マーク	メディア／ファイル(コンテンツ)に関する詳細
BDAV	BDAV形式の動画が記録されたBD-RE / BD-Rディスク
BD-Video	映画ソフトなど市販のBD-Videoディスク、またはBDMV形式の動画が記録されたBD-RE / BD-Rディスク
AVCREC	AVCREC™方式の動画が記録されたDVD-RW / DVD-Rディスク
VR	VR方式の動画が記録されたDVD-RW / DVD-Rディスク
DVD-Video	映画ソフトなど市販のDVD-Videoディスク、またはVideo方式の動画が記録されたDVD-RW / DVD-Rディスク
AVCHD	AVCHD形式の動画が記録されたDVD-RW / DVD-Rディスク、SDカード*
JPEG	JPEG形式の静止画が記録されたBD-RE / BD-R / DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-Rディスク、USBメモリ、SDカード*
音楽用CD	音楽用CD

※ USBカードリーダー(市販品)を本機に接続すると、SDカードに記録されたJPEGファイルやAVCHDファイルを再生することができます。

付属品を確認する

の中に、チェックマーク(✓)を付けてご確認ください。
欠品などお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

 リモコン / 1個

 単四形乾電池 / 2本
※リモコン動作確認用

 本書(取扱説明書) / 1冊

 保証書 / 1枚

梱包箱に貼付された保証書は、内容をご確認の上、大切に保管してください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

もくじ

1 はじめに

この取扱説明書について	2
説明で使用するマークの意味	2
付属品を確認する	2
安全上のご注意	4
使用上のお願ひ	9
各部の紹介	11
リモコン	11
本体前面	12
本体背面	12
2 接続	13
接続のすすめ方	13
据え付けについて	13
据え付けるときのご注意	13
本機をテレビやAVアンプにつなぐ	13
テレビとつなぐ	13
AVアンプとつなぐ	14
電源コードをつなぐ	14

3 基本設定

リモコンの準備	15
リモコンに乾電池を入れる	15
リモコンの使用範囲について	15
本機の映像をテレビで見る	16
“かんたん設定” をする	17
CECリンク機能を使う	18
ソフトウェアを更新する	19
ディスクやUSBメモリを使って更新する	19

4 操作をする前に

画面表示の見かた	20
ホームメニュー	20
表示されるアイコンについて	20
再生中の情報を表示する	21

5 使えるメディア

本機で使えるメディアについて	22
本機で再生ができるメディア	22
ディスクについて	22
USB機器について	23
SDカードについて	23
ディスクやUSBメモリの記録構成について	24
ディスクの準備	25
ディスクを入れる	25
ディスクを取り出す	25
USB機器の準備	25
USB機器を接続する	25

6 再生する

ディスクの映像や音楽を再生する	26
BD-Video、DVD-Video、AVCHDを再生する	26
BD(BDAV)やDVD(AVCREC/VR)を再生する	27
種類の異なるファイルが入っているディスクの映像を再生する	27
音楽用CDを再生する	28
再生開始位置について	28
いろいろな再生	29
早く見る／聞く(早送り／早戻し)	29
音声付きで早く見る(早見再生)	29
再生を一時的に止める(再生一時停止)	29
ゆっくり見る(スロー再生)	29
コマを進める(コマ送り)	29
見たい／聞きたいところまでとばす(スキップ)	29
可変スキップ／可変リプレイ	29
再生中の写真を回転させる	29
繰り返し再生する(リピート再生)	30
番号や時間を指定してとばす(サーチ)	31

再生中の各種設定切り換え

音声(言語)を切り換える	32
字幕(言語)を切り換える	32
再生映像のノイズを低減する(ノイズリダクション)	33
再生映像の標準画質を鮮明な画質に補正する(超解像設定)	33
カメラアングル(見る角度)や映像を切り換える	33
BD-Videoの子画面の切り換えをする	34
BD-Videoのバーチャル・パッケージを利用する	34
パスワードの入力画面が表示されたときは	34

写真を再生する(スライドショー)

本機で再生できるJPEGファイルについて	36
最大認識可能数について	36

再生についての補足説明

7 便利な機能

いろいろな設定を変える(設定メニュー)

“設定”メニューを使う	39
“設定”メニューの項目と設定内容	39
“本体設定”メニューについての補足説明	42
BD / DVD-Videoの視聴を制限する	43
パスワードを入力する	43
パスワードを変更する	44
パスワードをリセットする	44

8 さまざまな情報

参考資料	46
アスペクト比(画面比)について	46
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報	47
著作権について	47
仕様	48
困ったときは	49
おかしいな?と思ったときの調べかた	49
用語説明	53
さくいん	55

1

2

3

4

5

6



7

8

安全上のご注意 必ずお読みください

商品本体および取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明







表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される内容および物的損害 ^{*3} のみの発生が想定される内容を示しています。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさしています。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	“  ”は、 禁止 (してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“  ”は、 指示 する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“  ”は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意

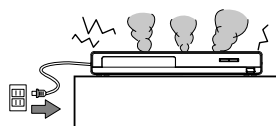
● イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

警告

■ 煙が出ている、異臭や音がするときは、
すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

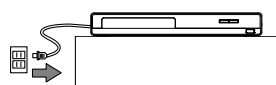
異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなる、異臭や音がしないことを確認して販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

■ 画面が映らない、音が出ないなどの
故障の場合には、すぐに本機の電源プラグを
コンセントから抜く

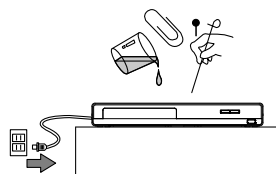
ただちに販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

■ 内部に水や異物などが入った場合は、
すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

ただちに販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

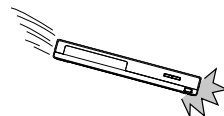


プラグを抜く

警告

- 本機を落とししたり、破損した場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

ただちに販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



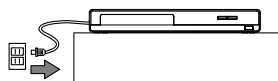
プラグを抜く

設置するとき

警告

- 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

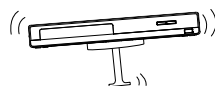
本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。本機は電源が「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。



指示

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

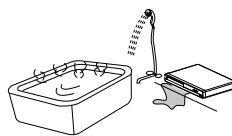
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

- 水まわり(風呂、シャワー室)など水滴がかかる場所で使用しない

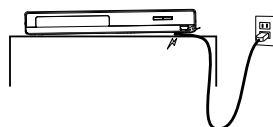
火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

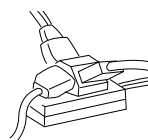


禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V(50/60Hz)以外では使用しない

たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

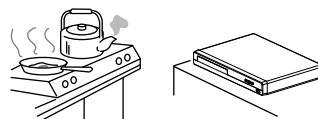


禁止

注意

- 湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、水滴が落ちるおそれのある場所に置かない

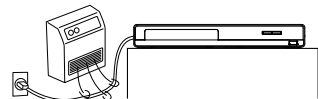
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 温度の高い場所に置かない

直射日光が当たる場所や閉め切った自動車内、熱器具の近くなどに設置されると、火災・感電の原因となります。また、破損、その他部品の劣化や変形・変色など、悪い影響を与えますのでご注意ください。



禁止

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

⚠ 注意

■ 移動させる場合は電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

- 機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してから行ってください。



プラグを抜く

■ 本機を医療機器の近く(同部屋)には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

使用するとき

⚠ 警告

■ 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品や薬品など液体の入った容器を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

■ 本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。

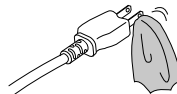
- 雨天、降雪中での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

■ 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、乾いた布で拭いて取り除く

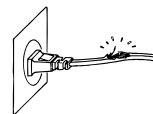
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。定期的に(年に1度程度)清掃してください。



指示

■ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたり、加熱したりしない

コードが破損して、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。



禁止

■ 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

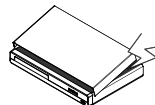
感電の原因となります。



接触禁止

■ 本機のトップカバーは開けない 本機を分解、改造しない

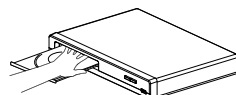
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

■ ディスクトレイ開閉口に指などを入れない

ディスクトレイ開閉口や内部に指を入れて突起に触れたり、ドアの開閉時に隙間に指をはさんだりすると、けがの原因となることがあります。



禁止

■ 乗り物の中で使用しない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

警告

■ 屋外で使用しない

内部に水や異物が入る可能性があり、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

■ 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください

- 誤って飲み込むと、身体に悪影響をおよぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、ただちに医師の治療を受けてください。



指示

注意

■ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



指示

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

■ 電源プラグはゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



禁止

■ 本機の上に乗らない

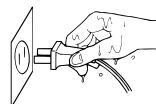
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

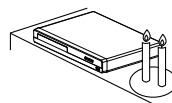
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■ 機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

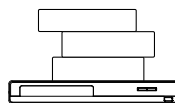
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

■ 本機の上に重い物を置かない

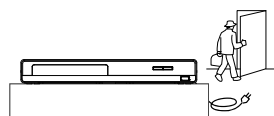
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

■ 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

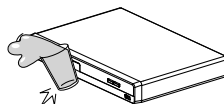
火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

■ ディスクトレイ開閉口の前にもものを置かない

ディスクトレイが開いたときに、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。



禁止

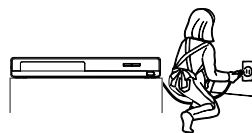
安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

お手入れするとき

⚠ 注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

接続したまま作業すると、感電の原因となることがあります。



■ 可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点、静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

■ 年に一度程度は、内部の掃除を販売店などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除作業および費用については販売店などにご相談ください。



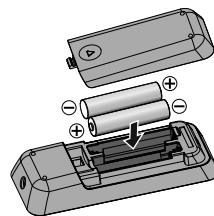
電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

■ 間違った電池の使い方をしない

極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、表示どおりに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

- 乾電池は充電しないでください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 火、水の中に入れてください。
- 分解、加熱しないでください。
- 日光、火などの過度の熱にさらさないでください。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。
- 液漏れした電池は使わないでください。
- 使い切った電池や長期間使用しない電池は、入れたままにしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

⚠ 注意

■ 電池が液漏れしたときは、素手で液をさわらないでください

- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。



禁止

■ 乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」にしたがって廃棄してください

他の金属片など導電性のあるものと一緒に廃棄するとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。



指示

メモ

- 「安全上のご注意」をお読みになったあとは → 「使用上のお願い」(p.9)も同様に、必ずお読みください。

使用上のお願い 必ずお読みください

■ 免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- USB端子に異物を挿入しないでください。USBメモリまたはUSBカードリーダー以外のものを接続しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。事故や破損の原因となります。
- “高速起動”を“入”に設定しているときは、コンセントを抜かないでください。故障の原因となります。
- 移動させるときは…
引越しや修理などで本機を運搬する場合は、必ず本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
- 本機を立てた状態で輸送しないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいと故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないときは…
ディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは…
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがや故障の原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。
- 超音波式加湿器のそばに置かないでください。超音波式加湿器をご使用の場合、水質によっては水道水に含まれるカルキやミネラル成分がそのまま霧化され、本機内部に白い粉状のものが入り込んで故障の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体のよごれはやわらかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- お手入れの際、アルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
- 洗剤を直接本機にかけないでください。水滴が内部に入ると、故障の原因となります。操作パネル部分の汚れは、柔らかいきれいな布（生地が表面が起毛された綿素材など）で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときには、水で100倍以上に薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹼、OAクリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。（この処置を行ってもわずかに表面が変質することがあります。）



使用上のお願い 必ずお読みください・つづき

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源仕様が異なり使えません。
This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

音量について

- 市販のBD / DVD-Videoの中には、音量が音楽用CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンブレ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

再生するときの制約

- 市販のBD / DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の取扱説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に“⊙”が表示されることがあります。“⊙”が表示されたときは、その操作ができないことを示します。

結露(露付き)について

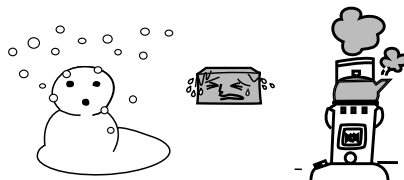
結露は本機やディスクを傷めます。よくお読みください。

- 例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



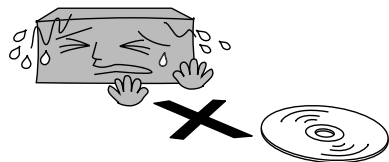
“結露”はこんなときに発生します。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房の効いた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



結露が発生しそうなときは、本機をご使用にならないでください。

- 結露が発生した状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。



本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

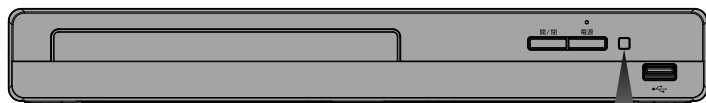
廃棄の際は、所在自治体の条例または規則にしたがってください。

- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、各種“初期化”(p.41)を行うことをおすすめします。また、お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどにディスクに保存されたデータなどが変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。

各部の紹介

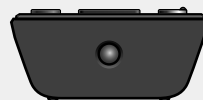
リモコン

■ 乾電池の入れかたは (p.15) をご覧ください。



■ リモコン発光送信部

操作するとき、本体のリモコン受光部に向けます。



本機の電源を入/切する (p.16)

ホームメニュー画面を表示する (p.20)

ディスクのトップメニューやポップアップメニューを表示する (p.26)

項目を選ぶ、決定する

サブメニューを表示する

本機の操作画面などで使用する

電源

ホーム

ディスクメニュー

画面表示

決定

サブメニュー

戻る

スロー

コマ送り

可変リプレイ

音声切換

字幕切換

可変スキップ

青

赤

緑

黄

BDPlay-Lite

maxell

RC-P4

ディスクトレイを開閉する* (p.25)

再生しているタイトルやファイルの情報を表示する

各種設定画面などで1つ前の画面に戻る

スロー再生をする (p.29)
再生する* (p.26、35)

早送り、早戻しをする (p.29)

早見再生をする (p.29)

コマ送りを (p.29)

スキップする (p.29)

可変リプレイ、可変スキップをする (p.29)


一時停止する (p.29)

停止する (p.26、35)

再生中の音声を切り換える (p.32)

再生中の字幕を切り換える (p.32)

トレイ開/閉

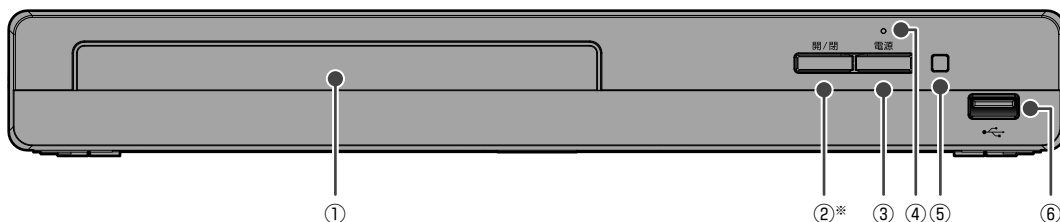
※  または  でも本機を起動させることができます。

1

はじめに

各部の紹介・つづき

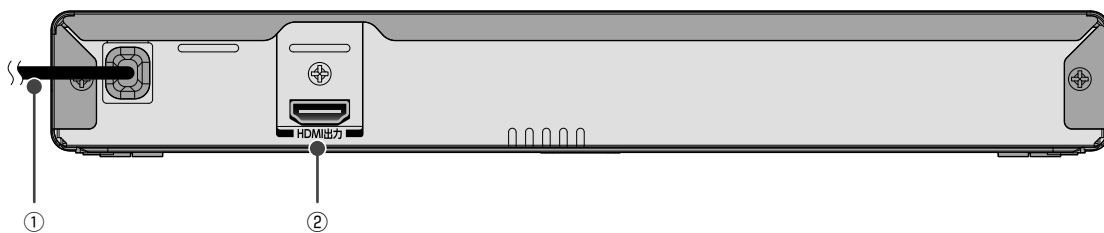
本体前面



- ① ディスクトレイ
- ② 開/閉ボタン[※]
ディスクトレイを開閉する (p.25)
- ③ 電源ボタン
本機の電源を入/切する
- ④ 電源ランプ(緑色)
本機の電源が「入」のときに緑色で点灯
起動中または本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中に点滅
- ⑤ リモコン受光部 (p.15)
- ⑥ USB端子
USB機器を接続する (p.25)

※ このボタンでも本機を起動させることができます。

本体背面



- ① 電源コード
必要な接続が終わってからつなぐ (p.14)
- ② HDMI出力端子
テレビのHDMI入力端子と接続する

ご注意

- 本体内部の放熱をよくするために、本体と壁やテレビ台などの周辺物との間は、適度な空間を空けてください。(p.13)

接続のすすめ方

本機とテレビをつなぎます。
(p.13)



必要に応じて

AVアンプでデジタル音声を楽しみたいときはHDMI入出力対応のAVアンプを本機とテレビの間につなぎます。(p.14)

すべての接続が終わったら電源プラグをコンセントに差し込みます。(p.14)

これで準備(接続)は終わりです。基本設定に進んでください。

つなぐときのご注意

- 接続するときは、必ず本機および接続するテレビやモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。(p.14)

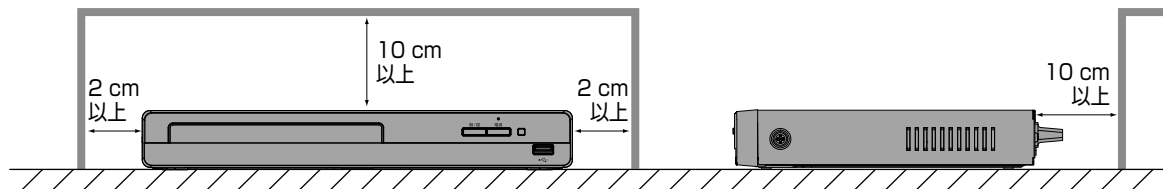
2

接続

据え付けについて

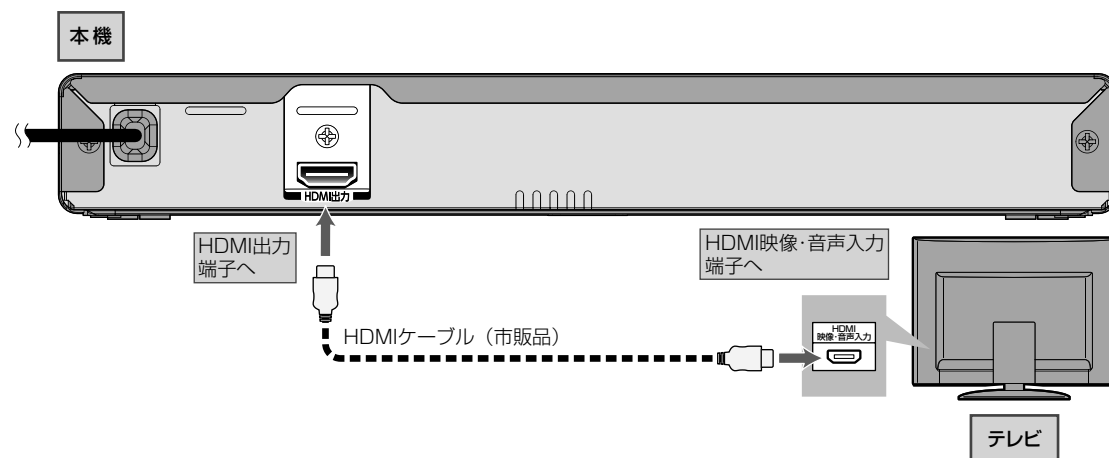
据え付けるときのご注意

- ① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
- ② 密閉したケースや棚などに設置したりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- ③ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。
- ④ 性能や安全性を維持するために、本機は床置きで使用しないでください。



本機をテレビやAVアンプにつなぐ

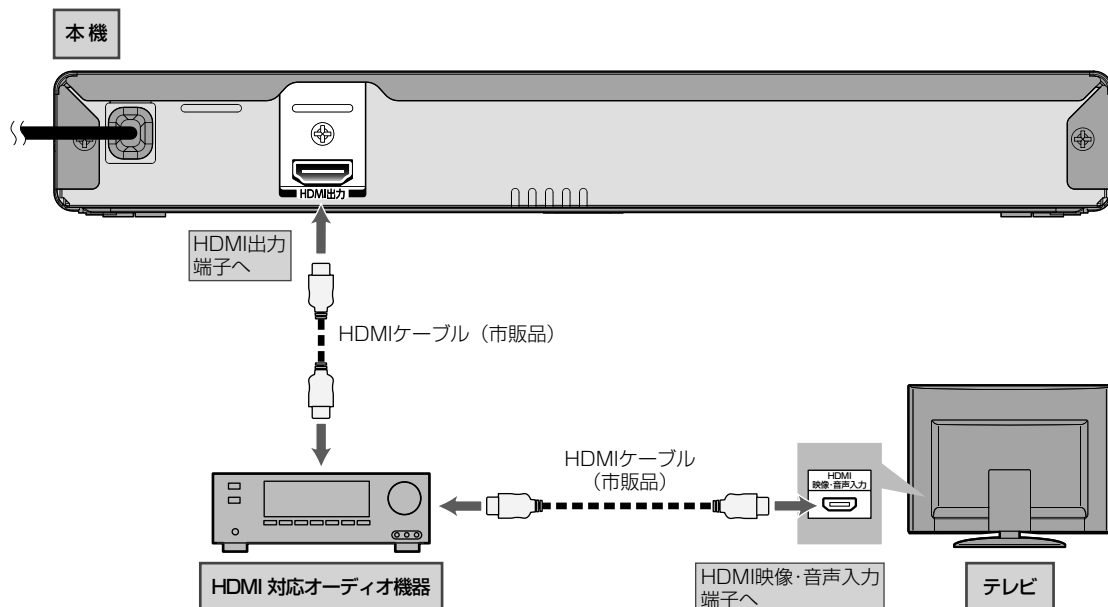
テレビとつなぐ



本機をテレビやAVアンプにつなぐ・つづき

AVアンプにつなぐ

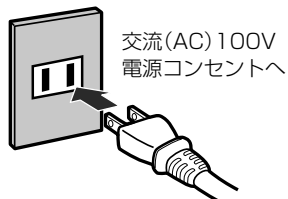
PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BD-Videoの7.1ch音声を楽しむことができます。また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD[®]の各音声を出力できるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。(この接続をした場合、テレビから音声がでないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。詳しくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をご覧ください。)



ご注意

- HDMIケーブルは、HDMI規格に準拠したHDMIロゴのあるHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは、コネクタ部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- HDCPに対応していないテレビに接続すると、映像が正しく表示されないことがあります。
- 本機とAVアンプを接続したときは、準備完了後、接続した機器に合わせて **ホーム** → **設定** → **“HDMI接続設定”** → **“音声出力設定”** の設定を変更してください。(p.40)

電源コードをつなぐ



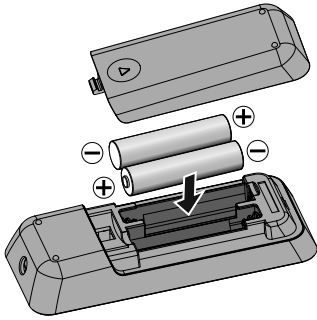
すべての接続が終わったら、電源コードをつなぐ

- 電源プラグを交流(AC)100Vの電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる

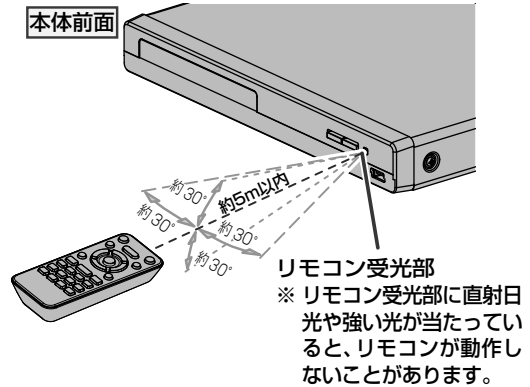
- 1 リモコン裏面のフタをはずす
- 2 「-」側を先に入れたあと、「+」側を入れる
 - 付属の単四形乾電池(1.5V 2本)をお使いください。



- 3 リモコン裏面のフタを取り付ける

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。



距離・・・ 本機正面より5m以内
 角度・・・ 本機正面より
 左右 約30° 以内 (5m以内)
 上 約30° 以内 (5m以内)
 下 約30° 以内 (5m以内)

3

基本設定

ご注意

リモコンの乾電池について

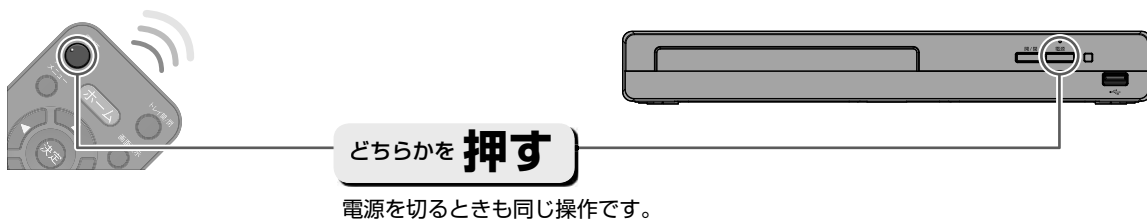
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
 - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- 公称電圧1.5Vを超える電池などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 本機のリモコンは単4のマンガン乾電池または、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例にしたがって処理してください。

リモコンの取扱いについて

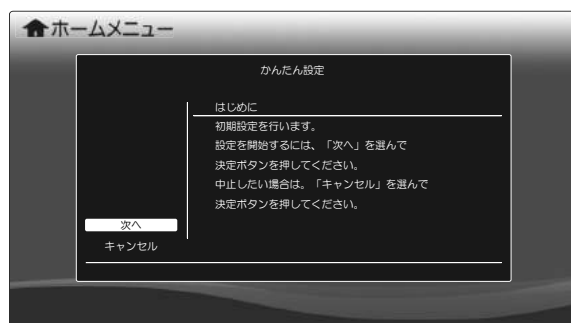
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

本機の映像をテレビで見る

- 1 テレビの電源を入れる
- 2 テレビの入力切換で、本機が接続されているHDMI入力に切り換える
- 3 本機の電源を入れる



■ 以下の画面が表示されたときは



- “かんたん設定” (p.17)を行ってください。

“かんたん設定”をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に“かんたん設定”画面が表示されます。画面の案内やガイドにしたがって、次の順で設定してください。

ご注意

- “かんたん設定”実行中は、電源プラグを抜いたり電源を切ったりしないでください。

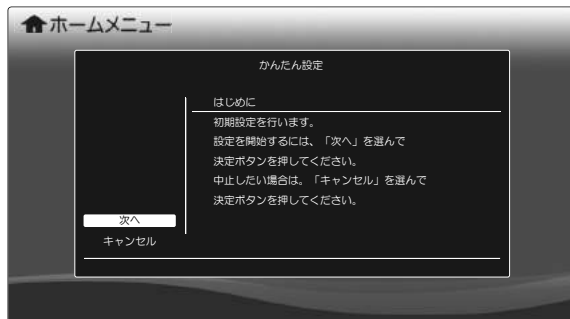
準備


- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切替で、本機が接続されている入力に切り換える

- 1  を押して本機の電源を入れる


メモ

- “かんたん設定”の開始画面が表示されます。



- 2 “次へ”が選ばれているので、そのまま  を押す


高速起動を設定する

- 3 ▲/▼で高速起動を設定するかどうかを選び、 を押す

“入”： “切”に設定したときよりも高速で起動しますが、待機時の消費電力が増えます。

“切”： “入”に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

CECリンク制御を設定する

- 4 ▲/▼でCECリンク制御をするかどうかを選び、 を押す

“入”： 本機とテレビの動作が連動するリンク機能を利用することができます。

“切”： リンク機能を利用しません。

メモ

- CECリンク制御機能を使うためには、本機と接続するテレビがCECリンク機能に対応している必要があります。詳しくは、「CECリンク機能を使う」(p.18)をご覧ください。

CECリンク機能を使う

CECリンク機能とは？

CECリンク対応機器(本機など)とCECリンク対応テレビをHDMIケーブルでつなぐことで、機器とテレビの連動操作が行えるようになる機能のことです。本機では、CECリンク機能を使用することで以下のようなことが可能になります。

- 本機の電源を入れて以下のボタンを押すと、テレビが自動的に本機が接続されているHDMI入力に切り換わります。



※ ● は、本機にBD-VideoまたはDVD-Video、AVCHDが記録されたディスクが入っているときのみ有効です。

- ● を2秒以上押すと、本機とテレビの電源が切れます。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

CECリンク機能を使うには、以下の手順を行って“CECリンク制御”の設定を“入”にしてください。

！ 準備

- 本機とCECリンク対応テレビをつないでおく(接続のしかたは「本機をテレビやAVアンプにつなぐ」(p.14)をご覧ください。)
- テレビ側でCECリンクの設定をしておく(詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。)

- 1 ● を押し、“設定” ➡ “HDMI接続設定” ➡ “CECリンク制御” ➡ “入”の順に選び、● を押す

💡 ご注意

- 接続するテレビにより操作できる機能は異なります。すべてのHDMI CEC対応テレビとの連係動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは“CECリンク制御”を“切”にしてください。

ソフトウェアを更新する

ご購入後も本機をより快適にご利用いただくために、本体ソフトウェア(ファームウェア)の更新版が当社ホームページに公開されることがあります。本体ソフトウェア(ファームウェア)の更新版が公開された場合は、ディスクやUSBメモリを利用して、更新することができます。

ディスクやUSBメモリを使って更新する

ディスクやUSBメモリに最新の本体ソフトウェア(ファームウェア)をダウンロードし、更新します。

！ 準備

- 記録可能なディスクまたはUSBメモリを準備する

以下のディスクがご使用いただけます

- BD-RE / BD-R / DVD-RW / DVD-R / CD-R / CD-RW

- 当社ホームページから最新のソフトウェアをダウンロードし、ディスクまたはUSBメモリに保存しておく
 - 本体ソフトウェア(ファームウェア)は、ディスクまたはUSBメモリに1つだけ保存してください。
 - 本体ソフトウェア(ファームウェア)は、ディスクまたはUSBメモリの第一階層に保存してください。
 - ダウンロード方法の詳細については、当社ホームページをご覧ください。

1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “その他設定” ➡ “ソフトウェア更新” の順に選び、**決定** を押す

2 ▲/▼で“ディスクによる更新”または“USBメモリによる更新”を選び、**決定** を押す

3 ◀/▶で“はい”を選び、**決定** を押す

4 ディスクを入れる、またはUSBメモリを接続する

5 確認メッセージが表示されるので、◀/▶で“はい”を選び、**決定** を押す

- 本体ソフトウェア(ファームウェア)の更新が開始され、完了後に自動で本機が再起動します。

🗨️ ご注意

- 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。また、USBメモリによる更新中は、USBメモリも抜かないでください。
- 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中は、ディスクトレイの開閉ができません。
- 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新後は、本書と本機で画面や動作の一部が一致しなくなることがあります。

画面表示の見かた

ホームメニュー



本機の電源を入れたときは、ホームメニュー画面が表示されます。ホームメニューから再生したいメディアを選択したり、さまざまな機能の設定を行うことができます。

- 他の画面を表示しているときに、**ホーム**を押すとホームメニュー画面に切り換わります。(再生中は、再生を停止してホームメニュー画面に切り換わります。)

項目	内容
ディスク	● ディスクに記録されているコンテンツを再生します。
USB	● USB機器のコンテンツを再生します。
設定	● さまざまな機能の設定を行います。詳しくは、「いろいろな設定を変える(設定メニュー)」(p.39)をご覧ください。

表示されるアイコンについて

メディアの出し入れ

	ディスクトレイ開
	ディスクトレイ閉
	ディスク、USB機器の読み込み中

メディアの種類

	ディスク
	BD-RE / BD-R
	BD-Video
	BDAV (オリジナル)
	BDAV (プレイリスト)
	BDMV
	DVD-RW / DVD-R
	DVD-Video
	VRモード(オリジナル)
	VRモード(プレイリスト)
	ビデオモード
	AVCREC™モード(オリジナル)
	AVCREC™モード(プレイリスト)
	USB機器
	音楽用CD
	データCD
	AVCHD形式のディスク

主な動作

	停止
	レジューム
	再生
	一時停止
	× 1.3
	早送り
	早戻し
	スロー再生
	正方向のスキップ
	逆方向のスキップ
	スキップ
	リプレイ

その他



	タイトル
	チャプター
	トラック
	再生時間(タイム)

ⓘ ご注意

- テレビ画面に“⊘”が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

再生中の情報を表示する

再生中に現在の再生の情報を表示することができます。

- 1 再生中に  を押す
- 2 確認したい情報が表示されるまで、繰り返し  を押す

映像を再生しているときの表示例

タイトル・チャプター番号情報




タイムバー*



- ① 動作状態
- ② リピート再生中に表示
- ③ タイトル番号、チャプター番号、再生時間

TT : 現タイトル番号／総タイトル数

CHP : 現チャプター番号／総チャプター数

 : 現再生時間

- ④ メディアの種類
- ⑤ 現再生時間
- ⑥ 再生中の現在位置
- ⑦ 総再生時間

※ BD-VideoおよびAVCHDの再生中は表示されません。

写真を再生しているときの表示例

トラック番号情報



ファイル名情報



- ① 現ファイル番号／総ファイル数
- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類
- ⑤ ファイル名

画面表示を消したいときは










画面表示が消えるまで繰り返し  を押す

メモ

- 再生するメディアやファイルの種類によって、表示される情報が変わります。

本機で使えるメディアについて

本機で再生ができるメディア

	再生できるメディア	ロゴ	再生できるファイル ^{*1}
BD	BD-RE BD-RE DL (2層) (Ver. 2.1)		BDMV BD-RE JPEG
	BD-R BD-R DL (2層) (Ver. 1.1 / 1.2 / 1.3)		
	BD-Video リージョンコードに「A」 の表示があるディスク 		
DVD	DVD-RW		AVCREC VR AVCHD JPEG
	DVD-R		AVCREC VR AVCHD JPEG
	DVD-Video リージョンコードに「2」 や「ALL」の表示がある ディスク 		-
CD	CD-RW		JPEG
	CD-R		
	CD-DA (音楽用CD)		
USB	USBメモリ	-	JPEG
SD	SDカード ^{*2}	-	JPEG AVCHD

※1 すべてのファイルの再生を保証するものではありません。

※2 USBカードリーダー(市販品)を本機に接続すると、SDカードを再生することができます。

ディスクについて

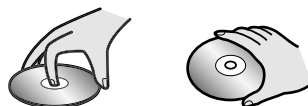
■ ブルーレイディスク / DVD / CD全般

次のような場合は、正常に再生できません。

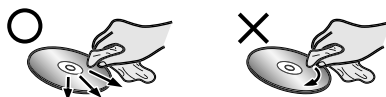
- 記録状態が悪い、ディスクの特性不良、傷、汚れ、本機のレンズの汚れ、結露などがあるとき。
- パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、「ディスクトレイの開閉ができない。」(p.50)をご覧ください、対処してください。
- PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
- 権利者に無断で作成されたディスク。
- クローズド・キャプション(Closed Caption)の再生。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央の穴を持ち、再生面(光っている面)には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。



ディスクの保管について

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くと、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

次のようなディスクは使わないでください!

- ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
 - 傷が付いているディスク
 - ラベルやシールが貼られているディスク
 - のりがはみ出しているディスク
 - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク
 - 六角形など、特殊な形状のディスク

8cm盤のディスクを使用するときは

- ディスクはトレイの中央の溝に確実ににはめてください。
- 8cmアダプターなしで使用できます。

■ BD-RE / BD-R

- ファイナライズ(クローズ)していないBD-Rは、正常に再生できないことがあります。
- BD-RE Ver1.0 (カートリッジタイプ)は、再生できません。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録したBD-RE/BD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。


■ DVD-RW / DVD-R

- ファイナライズしていないディスクは、正常に再生できないことがあります。
- DVD-RAMは再生できません。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録したDVD-RW/DVD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。

■ BD / DVD-Video

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

■ 音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- MP3ファイル形式で録音されたディスクには対応しておりません。
- CD規格外の音楽用CD(コピーコントロール付きCDなど)は正常に再生できません。
- データファイルが混在している音楽用CDは再生できません。

● ご注意

- 対応ディスクであっても、すべての再生を保証するものではありません。

USB機器について

- 本機はFAT16/FAT32形式でフォーマットされたUSB機器に対応しています。
- USBメモリまたはUSBカードリーダー以外の機器は接続しないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因になります。(携帯電話、スマートフォン、タブレットは使用できません。)また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は、保証していません。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本機の故障の原因となります。

● ご注意

- すべてのUSBメモリおよびUSBカードリーダーで動作を保証するものではありません。
- USB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器の再生中・読み込み中は、次のことを行わないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
 - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする。
 - USB機器を取り外す。

SDカードについて

本機はUSBカードリーダーを使ってSDカードを再生することができます。SD規格に準拠した以下のSDカードに対応しています。

SDメモリーカード (8MB ~ 2GB)	FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード
miniSDカード (16MB ~ 2GB)	
microSDカード (256MB ~ 2GB)	
SDHCメモリーカード (4GB ~ 32GB)	FAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカード
miniSDHCメモリーカード (4GB ~ 8GB)	
microSDHCメモリーカード (4GB ~ 16GB)	

- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。

● ご注意

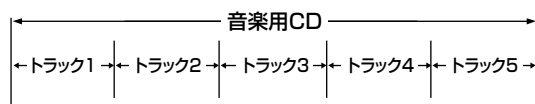
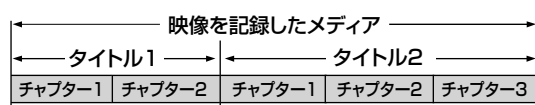
- すべてのSDカードで動作を保証するものではありません。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。
- SDXCカードには対応しておりません。

本機で使えるメディアについて・つづき

ディスクやUSBメモリの 記録構成について

- 一般に、市販のBD-Videoやレコーダーなどで録画した番組は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
- 音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。
- JPEG形式のファイルが記録されたメディアは、「フォルダ」という大きな区切りと、「ファイル」という小さな区切りで構成されます。パソコンなどでJPEG形式のファイルを作成する際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

(例)



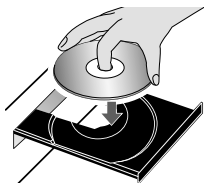
- タイトル： ディスクに記録された番組などのコンテンツデータです。
- チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
- トラック： 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。
- ファイル： ひとつひとつのデータのことです。
- フォルダ： タイトルやファイル、フォルダなどの集合を含む階層のことです。

ディスクの準備

ディスクを入れる

トレイ開/閉

- 1 ● を押して、ディスクトレイを開く
- 2 ディスクを、ラベル面を上にしてトレイの上に置く



- 両面ディスクを使用するときは再生したい面を下にしてください。

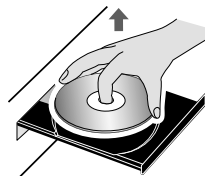
トレイ開/閉

- 3 ● を押して、ディスクトレイを閉める
 - ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
 - ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。

ディスクを取り出す

トレイ開/閉

- 1 ● を押して、ディスクトレイを開く
- 2 ディスクを取り出す



トレイ開/閉

- 3 ● を押して、ディスクトレイを閉める

メモ

- 本体前面の[開/閉]ボタンを押してもディスクトレイの開/閉ができます。

5

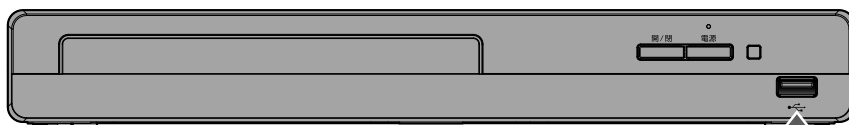
使えるメディア

USB機器の準備

USB機器を接続する

本機ではUSBメモリに記録されたJPEGファイルを再生できます。

また、USBカードリーダー（市販品）を接続すると、SDカードに記録されたJPEGファイルやAVCHDファイルを再生することができます。



USB端子へ



USBメモリ(市販品)
または
USBカードリーダー(市販品)

■ USB機器を取り外すには

再生が停止していることを確認し、ゆっくりと引き抜いてください。

ご注意

- USB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器の再生中・読み込み中は、次のことを行わないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
 - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする。
 - USB機器を取り外す。

ディスクの映像や音楽を再生する

BD-Video、DVD-Video、AVCHDを再生する

BD-Video DVD-Video AVCHD

1 ディスクを入れる

- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は画面の指示に従って操作してください。

2 自動的に再生を開始します

- 自動的に再生を開始しない場合は、◀/▶で“ディスク”を選び、**決定**を押してください。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。

ディスクのメニューやポップアップメニューから操作するときは

(メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。ディスクソフトによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクソフトの説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

- ① 再生中に ディスクメニュー を押す
- メニュー選択画面が表示されます。

BD-Video	ポップアップメニュー トップメニュー
DVD-Video AVCHD	トップメニュー メニュー

- ② ▲/▼で表示したいメニューを選び、**決定**を押す
- ③ ▲/▼/◀/▶でお好みのタイトルや項目を選び、**決定**を押す

再生を停止するときは

- を押す
- 再生が停止します。
(レジュームポイントが記憶されます。詳しくは、「再生開始位置について」(p.28)をご覧ください。)

メモ

- USBカードリーダー(市販品)を接続すると、SDカードに記録されたAVCHDファイルを再生することができます。以下の手順で再生してください。
 - ① **ホーム**を押してホームメニュー画面を表示する
 - ② ◀/▶で“USB”を選び、**決定**を押す
 - 種類の異なるファイルが書き込まれたSDカードをUSBカードリーダーに接続している場合は、コンテンツ選択画面が表示されます。◀/▶で“AVCHD”を選び、**決定**を押してください。

ご注意

- 本機はDVDに記録されたAVCHDファイル(「～～.m2ts」や「～～.mts」、「～～.m2t」)を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダの相対関係がAVCHDの仕様にそった構造にしてください。
- AVCHDファイルをDVDやSDカードなどに記録するには、AVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。(詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。)

サブメニューから数字を入力するときは

ディスクのメニュー画面などで、メニュー項目を選ぶ場合やBDの再生中に数字を入力する必要がある場合に、サブメニューから数字を入力することができます。

- ① ディスクのメニュー画面や再生中に サブメニュー を押す
- ② ▲/▼で“数字入力”を選び、**決定**を押す
- 数字入力画面が表示されます。
- ③ ▲/▼で数字を入力し、**決定**を押す
- 2桁以上の数値を入力するときは、◀/▶で桁の移動ができます。(再生するコンテンツによって表示される桁数が異なります。)



ご注意

- ディスクによっては、数字入力できない場合があります。

BD (BD-RE)やDVD (AVCREC/VR)を再生する

BD-RE AVCREC VR

BD-REで記録されたBD-RE/RディスクやAVCREC、VRで記録されたDVD-RW/Rディスクにプレイリストを設定しているときは、「オリジナル」または「プレイリスト」を選んで再生することができます。

1 ディスクを入れる

- タイトル一覧画面が表示されます。

タイトル一覧画面の見かた



- 再生中のタイトルのプレビュー再生
 - 音声付き再生になります。
- ディスク名
- タイトル名、録画日
- 操作ガイド
- 選択中のタイトル

2 ▲/▼で再生するタイトルを選ぶ

3 ▶または決定を押して、再生を始める

- を押して、サブメニューから再生開始位置を選んで再生することもできます。詳しくは、「再生開始位置について」(p.28)をご覧ください。

再生を停止するときは

- を押す
- 再生が停止し、タイトル一覧画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。詳しくは、「再生開始位置について」(p.28)をご覧ください。)

オリジナルとプレイリストのタイトル一覧を切り換えるときは

タイトル一覧画面で を押す

- タイトル一覧画面で を押して、サブメニューから切り換えることもできます。

タイトル一覧で表示するタイトルの並び順を変えたいときは

- タイトル一覧画面で を押して、サブメニューを表示する
- “並び順”を選び、 を押す
 - 並び順の種類が表示されるので、希望の並び順を選び、 を押してください。

記録順	● 記録された順に並び替えます。
番組名順	● 番組名(タイトル名)順に並び替えます。
新しい順	● 録画日が新しい順に並び替えます。 ● 録画日が記録されていない場合は、並び順の最後になります。
古い順	● 録画日が古い順に並び替えます。 ● 録画日が記録されていない場合は、並び順の最初になります。

- ▲/▼で“決定”を選び、 を押す

種類の異なるファイルが入っているディスクの映像を再生する

AVCREC AVCHD JPEG

1 ディスクを入れる

- コンテンツ選択画面が表示されます。



- ◀/▶で“AVCHD”または“AVCREC”を選び、 を押す

ディスクの映像や音楽を再生する・つづき

- “AVCHD”を選んだときは、自動的に再生が始まります。詳しくは「BD-Video、DVD-Video、AVCHDを再生する」(p.26)をご覧ください。
- “AVCREC”を選んだときは、タイトル一覧画面が表示されます。詳しくは「BD (BD-Video) やDVD (AVCREC/VR)を再生する」(p.27)をご覧ください。
- JPEGファイルを再生したい場合は“写真”を選んでください。詳しくは「写真を再生する(スライドショー)」(p.35)をご覧ください。

音楽用CDを再生する

音楽用CD

1 ディスクを入れる

- トラック一覧画面が表示されます。

トラック一覧画面の見かた



- 再生中やレジュームポイントが記憶されているトラック
- 再生中のトラック番号(停止中は選択中のトラック番号) / 総トラック数
- 再生経過時間 / 総再生時間
- 動作状態
- リピート再生中に表示
- トラック番号、総再生時間
- 操作ガイド
- 選択中のトラック

2 ▲/▼で、お好みのトラックを選び、

▶ または 決定 を押す

再生を停止するときは

■ を押す

- 再生が停止し、トラック一覧画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。詳しくは、「再生開始位置について」(本ページ)をご覧ください。)

再生開始位置について

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD 音楽用CD

再生中に ■ を押すと、再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されます。

- ディスクにつき一箇所だけレジュームポイントが記憶されます。ディスクに複数のタイトルが記録されている場合は、最後に再生していたタイトルのレジュームポイントが記憶されます。
- 本機の電源を切った後でも、レジュームポイントは記憶されています。

BD-Video DVD-Video AVCHD の場合

- ホーム画面で“ディスク”を選び、▶ または 決定 を押すと、続きから再生します。

BDAV AVCREC VR の場合

- タイトル一覧画面で再生したいタイトルを選び、サブメニュー を押すと、“最初から再生”または“続きから再生”を選ぶことができます。
- “オリジナル”と“プレイリスト”のタイトル一覧を切り換えたときは、レジュームポイントが解除されます。

音楽用CD の場合

- 次回、タイトル一覧画面で同じタイトルを選び、▶ または 決定 を押すと、続きから再生します。

メモ

- 次のような場合、記憶したレジュームポイントが解除されます。
 - タイトルの終わりまで再生したとき
 - ディスクトレイを開けたとき
 - 視聴制限レベルが変更されたとき
 - レジューム情報が記録されているときに、再度 ■ を押したとき

ご注意

- ディスクによっては、レジューム機能を利用できない場合があります。

いろいろな再生

早く見る／聞く(早送り／早戻し)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD 音楽用CD

再生中に、、を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階で切り換わります。(音楽用CDを再生した場合は、3段階で切り替わります。)
- を押すと、通常再生に戻ります。
- 一部を除き、音声は出ません。

音声付きで早く見る(早見再生)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

再生中に、を1回押す

- を押すと、音声付きの約1.3倍速の早見再生になります。
- 早見再生中に を押すと、通常再生に戻ります。

再生を一時的に止める(再生一時停止)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD JPEG 音楽用CD

再生中に を押す

- 再生が一時停止します。
- または を押すと、再生を再開します。

ゆっくり見る(スロー再生)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

再生一時停止中に、を押す

- 押すたびに、再生速度が3段階で切り換わります。
- を押すと通常再生に、を押すと再生一時停止に戻ります。

コマを進める(コマ送り)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

再生一時停止中に、を押す

- 押すたびに、画面が1コマずつ進みます。
- または を押すと、通常再生に戻ります。

見たい／聞きたいところまでとばす(スキップ)

再生中に、、を押す

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

- 押すたびに、前後のチャプターに移動します。
- の場合、1回目は現在再生中のチャプターの先頭に移動します。

音楽用CD

- 押すたびに、前後のファイルに移動します。
- の場合、1回目は現在再生中のファイルの先頭に移動します。

JPEG

- 押すたびに、前後のファイルに移動します。

メモ

- 早送り、早戻し、スロー再生中にスキップをした場合、移動先からは通常で再生されます。

可変スキップ／可変リプレイ

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

再生中に 、を押す

- 押すたびに、“再生設定”の“可変スキップ”または“可変リプレイ”で設定した時間だけ再生位置が移動します。(p.41)

メモ

- 早送り、早戻し、スロー再生中に可変スキップ／可変リプレイをした場合、移動先からは通常で再生されます。

再生中の写真を回転させる

JPEG


再生中に / を押す


- 押すたびに、画像表示が90°ずつ回転します。(回転した画像情報は記憶されません。)

いろいろな再生・つづき

繰り返し再生する(リピート再生)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD JPEG 音楽用CD


1 再生中に、を押してサブメニューを表示する

2 ▲/▼で“リピート”を選び、を押す

3 ▲/▼で希望のリピート再生を選ぶ

リピート オフ

リピート再生をやめるときは

- を押すと再生が停止し、リピートも解除されます。
- 再生を止めずにリピートだけ解除する場合は、再度サブメニューで“リピート”を選び、“オフ”の設定にします。(手順 3)

リピートの種類について

再生中のメディアやファイルによって、選べるリピート再生の種類が異なります。

再生するメディア／ファイル	サーチの種類
BD-Video DVD-Video AVCHD	 CHAPTER チャプターリピート  TITLE タイトルリピート オフ
BDAV AVCREC VR	 CHAPTER チャプターリピート  TITLE タイトルリピート  ALL オールリピート オフ
音楽用CD	 TRACK トラックリピート  ALL オールリピート  RANDOM ランダムリピート オフ
JPEG	 TRACK トラックリピート  ALL オールリピート  RANDOM ランダムリピート  GROUP グループリピート オフ

チャプターリピート： 再生中のチャプターを繰り返し再生します。

タイトルリピート： 再生中のタイトルを繰り返し再生します。

トラックリピート： 再生中の音楽／写真を繰り返し再生します。

グループリピート： フォルダ内の写真を繰り返し再生します。

オールリピート： メディア内のすべての映像／音楽／写真を繰り返し再生します。

ランダムリピート： メディア内の音楽／フォルダ内の写真をランダムな順序で再生します。



オフ： リピート再生しません。

注意


- 以下の操作で、再生位置がリピート範囲を超えた場合はリピートが解除されます。
 - スキップ
 - チャプター／トラック／タイムサーチ
 - 可変スキップ
 - 可変リプレイ

番号や時間を指定してとばす(サーチ)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD JPEG 音楽用CD

- 再生中に、 を押し、^{サブ}_{メニュー} を表示する
- ▲/▼で“サーチ”を選び、 を押す
- ▲/▼で希望のサーチを選ぶ

サーチ  1/8

- 押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- ▶ で変更したい数値へ移動し、▲/▼で数値を変更し、 を押す
 - 指定した番号または時間に再生位置が移動します。

入力を間違えたときは、

◀ / ▶ で修正したい数値に移動し、入力し直してください。

サーチの種類について

再生中のメディアやファイルによって、選べるサーチの種類が異なります。

再生するメディア／ファイル	サーチの種類
BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR AVCHD	CHP チャプターサーチ TT タイトルサーチ ⌚ タイムサーチ
音楽用CD	TR トラックサーチ ⌚ タイムサーチ
JPEG	TR トラックサーチ

- チャプターサーチ： 指定したチャプターを頭出しします。
- タイトルサーチ： 指定したタイトルを頭出しします。
- トラックサーチ： 指定したトラックやファイルを頭出しします。
- タイムサーチ： 指定した時間で頭出しします。

再生中の各種設定切り換え


再生中に、音声や字幕の言語、カメラアングルなどを切り換えることができます。

音声(言語)を切り換える

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD 音楽用CD

再生中のタイトルに複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語が記録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。


1 再生中に、を押して、音声情報を表示する

- 再生中は、を押してサブメニューを表示し、“音声”を選ぶことでも音声情報を表示できます。

2 ◀/▶/▲/▼で希望の音声を選ぶ

- を押して切り換えることもできます。

BD-Video

▲/▼で“プライマリ”か“セカンダリ”を選んだあとに、で音声切り換えエリアへ移動し、▲/▼で音声を切り換える。

音声	プライマリ	1 日本語	DolbyD	Multi-ch /3
	セカンダリ	2 英語	DolbyD+	Multi-ch /3
			[デコード形式]: DolbyD	

- “音声設定”の“BD-HD音声設定”が“HD音声”のときにはセカンダリ音声は出力されません。(p.39)
- セカンダリの場合は、◀/▶で最後に選んだ音声と“オフ”を切り換えることができます。

BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

- 複数の音声ストリームがある場合は、左側の項目がハイライトされるので、▲/▼で希望の音声を選択してください。

音声	1 日本語	AAC	2ch	/2
		[デコード形式]: AAC		

- 選択している音声が二カ国語の場合は、▲/▼で“主音声”→“副音声”→“主/副”に切り換えることができます。

音声	1 日本語	AAC	二重音声	/1	主音声
		[デコード形式]: AAC			

音楽用CD

- 選択している音声がステレオの場合は、▲/▼で“ステレオ”→“L-ch”(左音声)→“R-ch”(右音声)に切り換えることができます。

音声	ステレオ
----	------

ご注意


- 以下の場合、音声切替できません。
 - 早見再生中
 - スロー再生中
 - 早送り/早戻し中
 - コマ送り中
 - 一時停止中
- DTS-CDの場合、音声を切り換えることができません。

字幕(言語)を切り換える

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

再生中のタイトルに複数の字幕言語が記録されているときは、字幕の言語や表示/非表示を選ぶことができます。


1 再生中に、を押して、字幕情報を表示する

- 字幕情報は、を押して、サブメニューから“字幕”を選ぶことでも表示できます。

2 ▲/▼で希望の字幕を選ぶ

BD-Video

BD-Videoの場合、プライマリ映像用の字幕、セカンダリ映像用の字幕、また、字幕のスタイルを、それぞれ設定することができます。

▲/▼で“プライマリ”、“セカンダリ”または“スタイル”を選んだあとに、で字幕へ移動し、▲/▼で設定を切り換える

字幕	プライマリ	1 日本語	/11
	セカンダリ	2 英語	/11
	スタイル	2/25	

DVD-Video VR AVCHD

▲/▼で希望の字幕を選ぶ

字幕	1 日本語	/1
----	-------	----

メモ

- ◀/▶で最後に選んだ字幕言語と“オフ”を切り換えることができます。
- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかります。

ご注意

- 以下の場合、字幕切替できません。
 - 早見再生中
 - スロー再生中
 - 早送り/早戻し中
 - コマ送り中
 - 一時停止中

再生映像のノイズを低減する (ノイズリダクション)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

- 再生中に、^{サブメニュー} を押してサブメニューを表示する
- ▲/▼で“ノイズリダクション”を選び、**決定** を押す
- ▲/▼で希望の設定を選び、**決定** を押す

ノイズリダクション オフ

“オフ”：ノイズリダクションを無効にします。
“オン”：ノイズが軽減されます。

再生映像の標準画質を鮮明な 画質に補正する(超解像設定)

BD-Video BDAV DVD-Video AVCREC VR
AVCHD

映像を精細感の高い画質に補正します。

- 再生中に、^{サブメニュー} を押してサブメニューを表示する
- ▲/▼で“超解像設定”を選び、**決定** を押す
- ▲/▼で希望の設定を選び、**決定** を押す

超解像設定 オフ

“オフ”：超解像再生を無効にします。
“オン”：精細感が強調されます。

ご注意

- 接続しているテレビによっては、映像が白っぽく見えることがあります。その場合、“超解像設定”を“オフ”に設定してください。
- 再生している映像の解像度や本機に接続している機器のHDMI出力解像度によっては、効果が確認できないことがあります。

カメラアングル(見る角度)や 映像を切り換える


BD-Video DVD-Video

再生中のタイトルに複数のカメラアングルや映像が記録されているときは、見る角度や映像を選ぶことができます。

- 再生中に、^{サブメニュー} を押してサブメニューを表示する
- ▲/▼で“アングル”を選び、**決定** を押す
- ▲/▼で希望のカメラアングルや映像を選び、**決定** を押す

- ▲/▼を押すたびに、カメラアングルや映像が切り換わります。

メモ

- カメラアングルが選べる場面では、画面に“”が表示されます。(表示されないようにすることもできます。(p.41))
- 音声/字幕/カメラアングルの内容はディスクによって異なりますので、ディスクソフトの説明書もご覧ください。

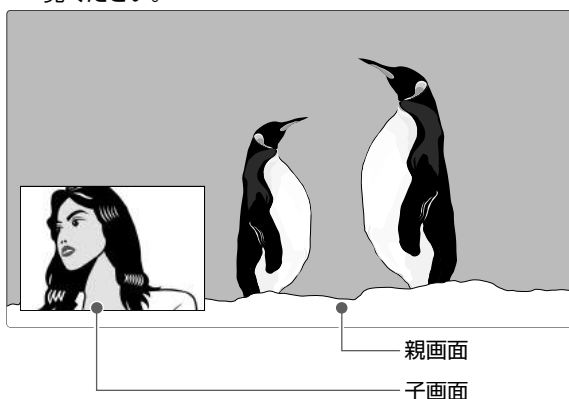
再生中の各種設定切り換え・つづき

BD-Videoの 子画面の切り換えをする

BD-Video

(ピクチャー・イン・ピクチャー対応のみ)
子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

- 子画面の再生のしかたは、BD-Videoの取扱説明書をご覧ください。

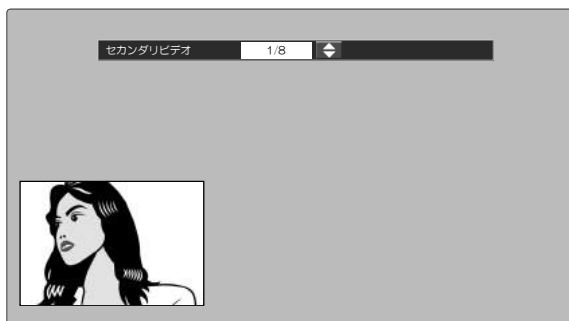


1 再生中に、**サブメニュー**を押してサブメニューを表示する

2 ▲/▼で“セカンダリビデオ”を選び、**決定**を押す

- 子画面の設定は、親画面／子画面の同時再生中のみできます。

3 ▲/▼で希望の設定を選び、**決定**を押す



ご注意

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。

BD-Videoのバーチャル・ パッケージを利用する

BD-Video

(バーチャル・パッケージ対応のみ)
バーチャル・パッケージに対応しているBD-Videoでは、USBメモリにデータをコピーして、いろいろな再生機能を楽しむことができます。

！ 準備

- USBメモリを接続しておく (p.25)

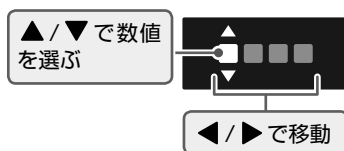
- 他のデータが入ったUSBメモリや、他機でフォーマットされたUSBメモリを使うと、BD-Videoが正しく再生されないことがあります。その場合、“USBメモリ初期化”を行ってください。(p.41)
- コピーされたバーチャル・パッケージを再生中に本機からUSBメモリを抜くと、BD-Videoの再生が停止します。
- BD-Videoの再生中に、映像や音声が停止することがあります。
- USBメモリに記録されたバーチャル・パッケージの内容を消去するには、“(USB) BDデータ消去”を行ってください。(p.41)

パスワードの入力画面が表示 されたときは

BDAV AVCREC

ディスクに再生のためのパスワードが設定されているときは、パスワードの入力画面が表示されます。設定されたパスワードを入力してください。(本機では、パスワードの設定や変更はできません。)

1 ▲/▼/◀/▶でパスワードを入力する



- 入力した数字は、“*”で表示されます。
- 入力を終わったら、**決定**を押してください。

！ ご注意

- パスワードとは、再生を制限するためにディスクに設定されている4桁のパスワードです。

写真を再生する（スライドショー）

JPEG

ディスクやUSBメモリに記録された写真を本機で再生することができます。また、USBカードリーダー（市販品）を本機に接続すると、SDカードもお使いいただけます。

拡張子「.jpg (JPG)」や「.jpeg (JPEG)」が付いた、Exif 2.1規格準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。

1 ディスクを入れる、またはUSB機器を接続する

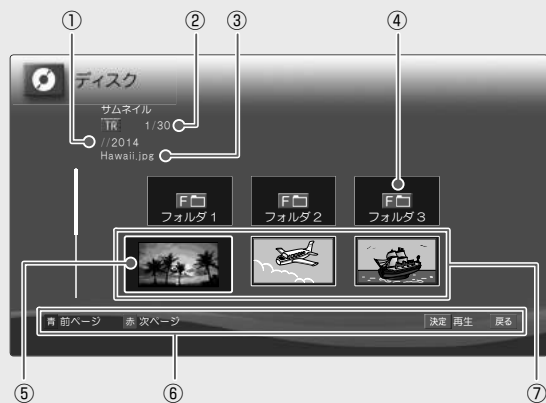
ディスクを再生するとき

- JPEGファイルのみ書き込まれたディスクの場合は自動でファイルの読み込みが始まり、ファイル一覧が表示されます。
- 種類の異なるファイルが書き込まれたディスクの場合は、コンテンツ選択画面が表示されます。◀/▶で“写真”を選び、決定を押してください。ファイル一覧画面が表示されます。

USB機器を再生するとき

- ① ホームを押してホームメニュー画面を表示する
- ② ▲/▼/◀/▶で“USB”を選び、決定を押す
 - ファイル一覧画面が表示されます。
 - 種類の異なるファイルが書き込まれたSDカードをUSBカードリーダーに接続している場合は、コンテンツ選択画面が表示されます。◀/▶で“写真”を選び、決定を押してください。

ファイル一覧画面の見かた



- ① フォルダの名前（現在の階層）
 - 一番上の階層のときはディスクまたは機器の名前が表示されます。
- ② 選択中のファイル番号／総ファイル数
- ③ 選択中のファイルまたはフォルダの名前
- ④ フォルダアイコン
- ⑤ 選択中のファイルまたはフォルダ
- ⑥ 操作ガイド
- ⑦ サムネイル

フォルダ内を見たいときは

- ▲/▼/◀/▶で見たいフォルダを選び、決定を押す
- 階層が複数ある場合は、この操作を繰り返してください。
- 戻るを押すと上の階層に戻ります。

別のページを表示するとき

- 青 (前ページ) または 赤 (次ページ) を押す

2 ▲/▼/◀/▶で見たい写真(ファイル)を選び、決定 または ▶ を押して再生を始める

- 選んだ写真(ファイル)と、それ以降に記録されているファイルが連続再生されます。
- 再生中に 画面表示 を2回押すと、ファイル名を表示できます。
- 再生中に ◀/▶ を押すたびに、画像表示が90°ずつ回転します。(回転した画像情報は記憶されません。)

再生を停止するとき



- 再生を停止し、ファイル一覧画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)
- 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止してファイル一覧画面に戻ります。
- その他の再生操作については、「いろいろな再生」(p.29)をご覧ください。

メモ

- 1ファイルあたりの再生時間(表示間隔)は10秒です。
- ファイル一覧画面には、JPEG形式のファイルだけが表示されます。
- JPEG再生中に再生できないファイルがあった場合は、“⊙”を表示して次のファイルにスキップします。
- 写真の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。

写真を再生する(スライドショー)・つづき

再生開始位置について

- 再生中に  を押すと、最後に再生したファイル(レジュームポイント)が記憶されます。
- レジュームポイントが記憶されているときにホームメニュー画面で“ディスク”または“USB”を選んだときは、レジュームポイントが記憶されているファイルを選択した状態でファイル一覧が表示されます。
- 最初から再生したいときは、ファイル一覧画面でもう一度  を押してレジュームポイントを解除してください。

メモ

- ディスクトレイを開けたときは、ディスクのレジュームポイントが解除されます。
- 本機からUSB機器を取り外したときや本機の電源を切ったときは、USB機器のレジュームポイントが解除されます。

最大認識可能数について

本機で認識できる最大ファイル数/最大フォルダ数/最大階層数は以下になります。

	BD / DVD / USB	CD
フォルダ数	999	255
ファイル数	9999	999
階層数	9	9

本機で再生できるJPEGファイルについて

画素数

サブサンプリング (4:4:4の場合)	32 × 32 ~ 4096 × 4096
サブサンプリング (4:2:2 または 4:2:0の場合)	32 × 32 ~ 5120 × 5120

- ファイルサイズは12MBまでです。
- JPEGファイルをディスクに書き込む場合はUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで書き込んでください。
- 一覧のフォルダ名が長いときは、末尾の文字が表示されない場合があります。

注意

- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEGファイルには対応していません。
- 記録状態などによっては、一覧に表示されたファイルでも再生できないことがあります。

再生についての補足説明

■ 再生全般

- ブルーレイディスク／DVDの2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬途切れることがあります。
- 再生開始時や再生停止時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- タイトルの変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクのメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起すことがありますのでご注意ください。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やカメラアングルの切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。

■ タイトル/ファイル一覧画面

- リピート再生中にタイトル/ファイル一覧画面を表示すると、リピート再生が解除されます。

■ つづき再生(レジュームポイント設定状態)

- つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

■ 音声／字幕／カメラアングルの切り換え

- ディスクソフトによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声(言語)を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 字幕設定を変更したときは、切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- 早送り／早戻し再生中の字幕表示はできません。
- カメラアングルを変更したときは、切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイを開けたときは、カメラアングルの設定が“1”に戻ります。

■ 音声出力について

- 再生するメディアや本機に接続している機器によって、音声出力が異なります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

メディア	音声記録方式	音声出力設定	
		ビットストリーム	LPCM
BD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタルプラス (ドルビーデジタル ^{*1})	マルチLPCM
	ドルビー TrueHD	ドルビー TrueHD (ドルビーデジタル ^{*1})	マルチLPCM
	DTS [®]	DTS [®]	2ch LPCM
	DTS-HD [®]	DTS-HD [®] (DTS [®] ^{*1})	2ch LPCM
	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM
BDAV	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
	AAC	AAC	2ch LPCM
	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM
DVD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
	DTS [®]	DTS [®]	2ch LPCM
	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
DVD-VR	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
AVCREC	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
	AAC ^{*2}	AAC	2ch LPCM
	LPCM	2ch LPCM	マルチLPCM

再生についての補足説明・つづき

メディア	音声記録方式	音声出力設定	
		ビットストリーム	LPCM
AVCHD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM
音楽用CD	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
DTS-CD	DTS [®]	DTS [®]	2ch LPCM

※1 “BD-HD 音声設定”を“複合音声”に設定して、インタラクティブ音声やセカンダリ音声を含むBD-Videoを再生したとき。

※2 デジタル放送で使用されるAAC音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録されたAAC音声の再生はできません。

ご注意

- 接続している機器がHDMIビットストリーム、AACに対応していない場合“音声出力設定”を“ビットストリーム”に設定していても、機器の性能に応じてマルチLPCM、またはダウンミックス2ch LPCMで出力されます。
- 再生するBD-Videoにセカンダリ音声やインタラクティブオーディオがない場合は、“BD-HD 音声設定”を“複合音声”に設定していても、出力音声は“HD音声”と同様になります。
- HDMI端子からの音声信号(サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など)は、接続する機器により制限されることがあります。
- プロジェクターなどのHDMI対応モニターによっては、音声信号入力に対応していない場合があります。そのような機器と本機を接続した場合は、HDMI出力端子から音声信号は出力されません。

いろいろな設定を変える(設定メニュー)

“設定”メニューを使う

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 ▲/▼/◀/▶ で“設定”を選び、**決定** を押す
- 3 ▲/▼で希望の項目または設定を選び、**決定** を押す

各設定項目については、以下の「設定」メニューの項目と設定内容](p.39 ~ 41)をご覧ください。
この操作を繰り返し、希望の設定に変更します。

- **戻る** を押すと、左側の設定項目に戻ります。

希望の設定に変更するとき確認メッセージが出る場合は

- ① ▲/▼/◀/▶ で“はい”を選び、**決定** を押してください。

ご注意

- 再生中にホームメニュー画面を表示すると、再生が自動的に停止します。


“設定”メニューの項目と設定内容

設定のしかたについては、上記「設定」メニューを使う(本ページ)をご覧ください。
(■ はお買い上げ時の設定です。)

項目	設定内容	説明	
映像設定	テレビ画面選択 ● 「アスペクト比 (画面比)について」(p.46) もご覧ください。	4:3レターボックス	4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。
		4:3パンスキャン	4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のないDVDディスクソフトはレターボックスで表示されます。
		16:9ワイド	16:9ワイドテレビで見るときに選びます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。
		16:9シュリンク	16:9ワイドテレビで、4:3映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ4:3映像を縮小して表示します。
	スチルモード	自動	表示する静止画の情報に応じて、“フィールド”または“フレーム”のどちらかで表示されます。
		フィールド	“自動”に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。“フィールド”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなります。
フレーム		動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。“フレーム”を選択すると画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため画像にブレが生じることがあります。	
音声設定	Dolby D レンジ (p.42)	自動	Dolby TrueHDの再生中に、本機がディスクのDolby D レンジ情報を認識し、自動でDolby D レンジ設定を“入”または“切”に設定します。Dolby TrueHD以外を再生した場合は“切”と同じ動作をします。
		入	記録された音声のダイナミックレンジ(強弱の幅)を調整します。
		切	記録されたオリジナル音源で出力します。
	BD-HD 音声設定	複合音声	インタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。
HD 音声		プライマリ音声のみを高音質で出力します。	

いろいろな設定を変える(設定メニュー)・つづき

項目	設定内容	説明	
HDMI接続設定	解像度設定(p.42)	自動	接続したHDMI機器によって、HDMI映像解像度を自動で設定します。
		480p	480プログレッシブで出力します。
		720p	720プログレッシブで出力します。
		1080i	1080インターレースで出力します。
		1080p	1080プログレッシブで出力します。
		1080p/24	1080プログレッシブ24フレームで出力します。
	ディープカラー	自動	接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合、自動で映像信号をディープカラーで出力します。
		切	映像信号をディープカラーで出力しません。
	プログレッシブモード	自動	映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に最適な状態で出力します。
		ビデオ	ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。“自動”設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。
	音声出力設定	ビットストリーム	接続している機器が以下に対応している場合、各音声ビットストリームで出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • ドルビーデジタル • ドルビー TrueHD • DTS-HD
		LPCM	上記音声をLPCMで出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • ドルビーデジタルプラス • DTS • AAC
CECリンク制御(p.18)	入	本機のCECリンク制御機能を使う設定です。 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機とHDMI CEC対応テレビをつなぐと、本機が対応しているCECリンク連動機能を利用できます。(HDMI CEC対応テレビの取扱説明書もご覧ください。) 	
	切		
再生設定	音声言語(p.42)	オリジナル	再生時の音声言語を設定します。
		日本語	“その他の言語”を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表(p.45)を参考に、言語コードを入力してください。
		英語	
		その他の言語	
	字幕言語(p.42)	切	再生時の字幕言語を設定します。
		日本語	“その他の言語”を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表(p.45)を参考に、言語コードを入力してください。
		英語	
		その他の言語	
	ディスクメニュー言語(p.42)	日本語	ディスクのメニューで表示される言語を設定します。
		英語	“その他の言語”を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表(p.45)を参考に、言語コードを入力してください。
		その他の言語	
	BD視聴制限レベル <ul style="list-style-type: none"> • ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。(p.43) 	無制限	制限なく、すべてのディスクが視聴できます。
		視聴可能年齢設定	年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢を超える制限が設定されているタイトルは視聴することができなくなります。
	DVD視聴制限レベル <ul style="list-style-type: none"> • ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。(p.43) 	無制限	制限なく、全てのディスクが視聴できます。
		レベル8	年齢に関係なく視聴できます。
		レベル7	18歳未満の方は視聴できません。
レベル6		18歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。	
レベル5		保護者同伴での視聴を推奨します。	
レベル4		13歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。	
レベル3		保護者の方の判断による視聴を推奨します。	
レベル2		一般的に視聴できる内容です。	
レベル1	お子様が視聴されても問題のない内容です。		






項目	設定内容	説明	
再生設定	可変スキップ (p.29)	5 秒	可変スキップ → を押したときに、スキップする時間を設定します。
		10 秒	
		30 秒	
		1 分	
		5 分	
	可変リプレイ (p.29)	5 秒	可変リプレイ ← を押したときに、戻る時間を設定します。
		10 秒	
		30 秒	
		1 分	
5 分			
アングル表示 (p.33)	入 切	“入”に設定しておく、再生中にカメラアングルが切り換え可能な場面で、画面に“  ”が表示されます。	
その他設定	未使用時自動電源 オフ	入 切	電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために約25分後に自動的に電源を切る設定です。
		テレビ画面保護	
	高速起動	入 切	本機を高速で起動する設定です。(待機時の消費電力は増加します。)
		パスワード変更	
	ソフトウェア更新 (p.19)	バージョン情報	現在の本体ソフトウェア(ファームウェア)のバージョンを表示します。
		ディスクによる更新	ディスクを使って、本機のソフトウェアを更新します。
		USBメモリによる更新	USBメモリを使って、本機のソフトウェアを更新します。
	初期化	設定項目初期化	本機の各種設定を初期化します。ただし、“視聴制限設定”は初期化されません。
		USBメモリ初期化	USBを初期化します。USBに記録された全ての情報を消去します。
		(本機)BDデータ消去	本機に保存されたBD-Videoデータのアプリケーションデータ(BD-Videoのゲームスコア等)を消去します。
		(USB)BDデータ消去	USBメモリに保存されたBD-Videoデータのバーチャルパッケージ(コピーしたBD-Videoの特典映像・音声・字幕等)を消去します。
個人情報初期化		本機の設定を工場出荷状態に戻し、電源を切ります。 ● 本機を譲渡または廃棄される場合には、“個人情報初期化”を行うことをおすすめします。	
ライセンス情報		本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。	

いろいろな設定を変える(設定メニュー)・つづき

“本体設定”メニューについての補足説明

■ “映像設定”

“TV画面選択”

-      のように、DVD-Video側で画面サイズが指定されているときは、本機で画面の種類を選んでも、違う種類で表示されることがあります。
- 正しい画面サイズ(画角、画面の縦横比)でハイビジョン映像を見るには、画面サイズを調整できるテレビでテレビ側で画角を調整してください。

■ “HDMI接続設定”

“HDMI解像度設定”

- “480p”以外に設定している場合、本機の映像出力端子からは“16：9”で信号が出力されます。

■ “音声設定”

“Dolby Dレンジ”

- この機能の効果は、タイトルによって異なります。

■ “再生設定”

“音声言語” / “字幕言語” / “ディスクメニュー言語”

- 言語設定はBD / DVD-Video 側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD / DVD-Videoによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクソフトの説明書をご覧ください。
- BD / DVD-Videoによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。
- 再生中の音声 / 字幕言語の切り換えかたは(p.32)をご覧ください。

■ “その他設定”

“初期化”

- “USBメモリ初期化”や“(USB)BDデータ消去”を実行中に、USBメモリを抜かないでください。USBメモリのデータが破損するおそれがあります。
- 本機にディスクが入っているときは、“個人情報初期化”はできません。また、本機にブルーレイディスクが入っているときは、“USBメモリ初期化”と“(USB)BDデータ消去”もできません。
- 本機に記憶されたお客様の個人情報(登録情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含めて当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 以下の設定を初期化するには、パスワードをリセットしてください。(p.44)
 - BD視聴制限レベル
 - DVD視聴制限レベル

BD / DVD-Videoの視聴を制限する

BD-Video DVD-Video

1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “再生設定” ➡ “BD視聴制限レベル”または“DVD視聴制限レベル”の順に選び、**決定** を押す
(くわしい操作方法は(p.39)をご覧ください。)

- パスワード入力画面が表示されます。

2 パスワードを入力する

- パスワードの入力方法については、「パスワードを入力する」(本ページ)をご覧ください。

3 ▲/▼で変更したい項目を選び、設定内容を変更する

ブルーレイディスクの視聴制限レベル

“無制限” …………… 制限なし
 “視聴可能年齢設定” … ▲/▼/◀/▶ で年齢入力

DVDの視聴制限レベル

“無制限” …… 制限なし
 “レベル8” … 弱(ほとんどのDVDが再生可能)
 {
 “レベル1” … 強(子供用のDVDだけが再生可能)

4 **決定** を押し、設定を完了する

パスワードを入力する

以下の設定をご利用いただくにはパスワードの入力が必要になります。

- BD視聴制限レベル
- DVD視聴制限レベル

パスワードは上記の設定で共通です。(別々にパスワードを設定することはできません。)

1 パスワード入力画面が表示されたら、▲/▼/◀/▶でパスワード(4桁)を入力する



- 入力した数字は、“*”で表示されます。
- “0”～“9”までの数字が選択できます。
- パスワードが未登録の場合は、2回入力が必要です。ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

入力を間違えたときは

◀で戻り、入力をやり直してください。

パスワードを忘れてしまったときは

パスワードをリセットしてから新しいパスワードを設定しなおしてください。「パスワードをリセットする」(p.44)

2 **決定** を押して入力を確定する

いろいろな設定を変える(設定メニュー)・つづき

パスワードを変更する

- 1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “その他設定” ➡ “パスワード変更”の順に選び、**決定** を押す

(くわしい操作方法は(p.39)をご覧ください。)

- パスワード入力画面が表示されます。

- 2 現在のパスワードを入力する

- パスワードの入力方法については、「パスワードを入力する」(p.43)をご覧ください。

- 3 ▲/▼/◀/▶ で新しいパスワードを入力する

- 4 確認用の再入力画面が表示されるので、もう一度入力し、**決定** を押す

パスワードをリセットする

パスワードを忘れてしまったときや以下の制限を初期化したいときは、パスワードをリセットしてください。

- BD視聴制限レベル
- DVD視聴制限レベル

- 1 パスワード入力画面で4737を入力する

ご注意

- “パスワード変更”で4737を入力してもパスワードはリセットされません。
- このパスワードは、視聴を制限される方にわからないようにご注意ください。

■ 言語コード一覧

言語名 (順不同)	言語コード	言語名 (順不同)	言語コード	言語名 (順不同)	言語コード	言語名 (順不同)	言語コード
アフアル語	4747	グアラニ語	5360	ナウル語	6047	ティグリニャ語	6655
アブバシア語	4748	グジャラート語	5367	ネパール語	6051	トゥルクメン語	6657
アフリカンス語	4752	ハウサ語	5447	オランダ語*	6058	タガログ語	6658
アムハラ語	4759	ヘブライ語	5451	ノルウェー語*	6061	セツワナ語	6660
アラビア語	4764	ヒンディ語	5455	プロバンス語	6149	トンガ語	6661
アッサム語	4765	クロアチア語	5464	アフアン語、 オロモ語	6159	トルコ語*	6664
アイマラ語	4771	ハンガリー語*	5467	オリヤー語	6164	ツォンガ語	6665
アゼルバイジャン語	4772	アルメニア語	5471	バンジャブ語	6247	タタール語	6666
バジキール語	4847	国際語	5547	ポーランド語*	6258	トウィ語	6669
ベラルーシ語	4851	インドネシア語	5550	パシュトー語	6265	ウクライナ語	6757
ブルガリア語*	4853	国際語	5551	ポルトガル語*	6266	ウルドゥ語	6764
ビハーリー語	4854	イヌピック語	5557	ケチュア語	6367	ウズベク語	6772
ビスラマ語	4855	アイスランド語*	5565	ラエティ=ロマン語	6459	ベトナム語	6855
ベンガル語、 バングラ語	4860	イタリア語*	5566	キルンディ語	6460	ボラビュク語	6861
チベット語	4861	日本語*	5647	ルーマニア語*	6461	ウォロフ語	6961
ブルトン語	4864	ジャワ語	5668	ロシア語*	6467	コーサ語	7054
カタロニア語	4947	グルジア語	5747	キニャルワンダ語	6469	イディッシュ語	7155
コルシカ語	4961	カザフ語	5757	サンスクリット語	6547	ヨルバ語	7161
チェコ語*	4965	グリーンランド語	5758	シンド語	6550	中国語*	7254
ウェールズ語	4971	カンボジア語	5759	サンゴ語	6553	ズール語	7267
デンマーク語*	5047	カンナダ語	5760	セルビア クロアチア語	6554		
ドイツ語*	5051	韓国語*	5761	シンハラ語	6555		
ブータン語	5072	カシミール語	5765	スロバキア語*	6557		
ギリシャ語*	5158	クルド語	5767	スロベニア語	6558		
英語*	5160	キルギス語	5771	サモア語	6559		
エスペラント語	5161	ラテン語	5847	ショナ語	6560		
スペイン語*	5165	リンガラ語	5860	ソマリ語	6561		
エストニア語	5166	ラオス語	5861	アルバニア語	6563		
バスク語	5167	リトアニア語	5866	セルビア語	6564		
ペルシャ語	5247	ラトビア語、レト語	5868	シスワティ語	6565		
フィンランド語*	5255	マダガスカル語	5953	セストゥ語	6566		
フィジー語	5256	マオリ語	5955	スندا語	6567		
フェロー語	5261	マケドニア語	5957	スウェーデン語*	6568		
フランス語*	5264	マラーラム語	5958	スワヒリ語	6569		
フリジア語	5271	モンゴル語	5960	タミール語	6647		
アイルランド語*	5347	モルダビア語	5961	テルグ語	6651		
スコットランド ゲール語	5350	マラータ語	5964	タジク語	6653		
ガルシア語	5358	マレー語	5965	タイ語	6654		
		マルタ語	5966				
		ミャンマー語	5971				










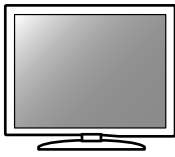








メモ

- 音声切換 または 字幕切換 を押したとき、*の付いている言語はそれぞれの言語名が表示され、それ以外の言語は“---”で表示されます。

参考資料

アスペクト比(画面比)について

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比で、4:3と16:9(ワイド)があります。

接続するテレビ	"TV画面選択"	画面の見えかた (上:4:3映像の場合、下:ワイド映像の場合)	
 <p>16:9のテレビ</p>	"4:3レターボックス"		画面全体に表示します。
			上下方向に黒い帯を表示します。
	"4:3パンスキャン"		画面全体に表示します。
			左右を一部カットして表示します。
	"16:9ワイド"		画面全体に表示します。
			入力信号通りのアスペクト比で表示します。
	"16:9シュリンク"		4:3を維持して、縮小表示します。
			入力信号通りのアスペクト比で表示します。
 <p>4:3のテレビ</p>	"4:3レターボックス"		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
			上下方向に黒い帯を表示します。
	"4:3パンスキャン"		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
			左右を一部カットして表示します。
	"16:9ワイド"		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
			16:9を4:3に縮小表示します。
	"16:9シュリンク"		縮小表示します。
			16:9を4:3に縮小表示します。

メモ

- 720p/1080i/1080p/1080p24で出力している場合は、“TV画面選択”設定にかかわらず、16:9シュリンク設定のみ有効です。
- 市販のディスクソフト再生時は、設定に関わらず、4:3パンスキャンでも、4:3レターボックスとして表示されることがあります。
- 再生するコンテンツによっては、この表のとおり映像が表示されない場合があります。

本機で使われるソフトウェアの ライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機は、米国「Free Software Foundation, Inc.」が定めたGNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2及びGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます。）に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス

http://support.maxell.co.jp/consumer_contact/detail.php?goods=ivrecorder

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、ホームメニュー画面の「設定」→「その他設定」→「ライセンス情報」に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。（日立マクセル以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。）

当該ソフトウェアモジュールについては、日立マクセル以外に、別途著作権者その他の権利を有するものがおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません。）をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインターフェースの不適合化等も含まれます。）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

著作権について

- 保護されたコンテンツを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
 - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC
(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

- Cinavia™

Cinaviaの通告この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、
<http://www.cinavia.com>のCinaviaオンライン お客様情報センターで提供されています。

Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまでがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。

CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2015 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray（ブルーレイ）、BONUSVIEW™、AVCREC™及び関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他の国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”および“x.v.Color”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

仕様

モデル名	BD-PL110
一般	
電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	10 W
許容動作温度	5 ~ 40 °C
許容湿度	最大80% (結露なきこと)
外形寸法	280 (幅) × 39 (高さ) × 198 (奥行) mm (突起部含む)
質量	1.05 kg
端子部	
HDMI出力	HDMI端子 19ピン Type A ×1
USB端子	USB2.0準拠 Type A DC5 V 最大500 mA ×1

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

■ 補修用性能部品の保有期間について

- ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

困ったときは

あれ？おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- 本機と接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

おかしいな？と思ったときの調べかた

- 1 まずは、次ページからの「こんなときは(症状) - ここをお調べください(原因と対応のしかた)」をご覧ください、現在の症状と対応のしかたをお調べください。

それでも直らないときは



- 2 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。

ディスクやUSBメモリが取り出せる場合は、先に取り出しておいてください。

- ① 本機の電源を切ることができる場合は、本体前面の[電源]ボタンを押して本機の電源を切る([電源]ボタンを10秒以上長押しすると、強制的に電源を切ります。)
- ② 本機の電源プラグを電源コンセントから抜いて、数秒間待つ
- ③ 本機の電源プラグを再度電源コンセントに差し込む(本機が通電状態になります。)
- ④ 電源を入れて、動作を確認する

それでも、まだ不具合があるときは




- 3 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、当社お客様ご相談センターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

困ったときは・っづき

■ 電源

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
電源が入らない。	● 電源コードのプラグが電源コンセントから抜けていませんか？	14
	● リモコンの乾電池が消耗していませんか？	15
	● 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。 → 「おかしいな？と思ったときの調べかた」(p.49)の手順 ② 以降を行ってください。	49
電源を入れると、“かんたん設定”画面が表示される。	● 接続が終わって初めて電源を入れたときや、“個人情報初期化”を行ったときは、“かんたん設定”画面が表示されます。	17
テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れる。本機の電源を入れると、テレビの電源も自動的に入る。	● CECリンク機能対応テレビと組み合わせると、本機のCECリンク制御を設定しているときは、テレビの電源と本機の電源が連動して自動的に入/切れます。(お使いのテレビによっては、自動的に電源が「入」にならないものもあります。)	18
勝手に電源が切れる。	● “未使用時自動電源オフ”機能が設定されていませんか？	41
	● 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。 → 「おかしいな？と思ったときの調べかた」(p.49)の手順 ② 以降を行ってください。	49
電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかる。	● システムの終了や情報の更新を行うため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	—

■ 本機の操作全般

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
本機が動かない。 本機の操作ができない。	● その操作が禁止されているときは、“  ”またはメッセージが表示されます。	20
	● リモコンの乾電池が消耗していませんか？	15
	● ご購入後に初めて電源を入れたときや、“個人情報初期化”を行った後に再び電源を入れたときは、“かんたん設定”画面が表示されます。	17
	● “かんたん設定”実行中は、再生できません。	—
	● 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。 → 「おかしいな？と思ったときの調べかた」(p.49)の手順 ② 以降を行ってください。	49
本機の設定画面やサブメニューが選べない。 表示されない項目がある。	● 設定や項目の操作ができないときは、選べない場合や、表示されない場合があります。	—
	● テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか？	—
本機が正常に動作しない。	● 結露が起きているいませんか？ → 電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。	10
ディスクトレイの開閉ができない。	● 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中はディスクトレイの開閉ができません。	—
	● 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなる場合があります。 → 「おかしいな？と思ったときの調べかた」(p.49)の手順 ② 以降を行ってください。	49
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない。	● ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	—
USB機器の操作ができない。 USB機器の内容が読めない。	● 本機で対応しているUSB機器を接続していますか？	23
	● USB端子にしっかり差し込まれていますか？	25
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった。	● USB機器の再生中に接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 → USB機器を取り外して、再度接続してください。	25

■ リモコン

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
リモコンがはたらかない。	● リモコン受光部に向けて操作していますか？	12
	● リモコン受光部から離れたところから操作していませんか？	15
	● 乾電池が消耗していませんか？	15
	● 乾電池の向き(⊕と⊖)が正しいか確認してください。	15

■ 再生

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
再生できない。 再生画面が出ない。	● テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか？	16
	●  を5秒間長押ししてください。“HDMI接続設定”の“解像度設定”を初期値(“自動”)に戻すことができます。	—
	● 視聴制限を解除するか、視聴制限レベルを変更してください。	43
タイトルの最初から再生が始まらない。	● つづき再生(レジュームポイント設定状態)になっていませんか？	28 36
映像や音声が一瞬止まる。	● 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一時止まる場合があります。	37
画面サイズがおかしい。	● “TV画面選択”をテレビの形状に合わせて選択していますか？	39
	●      のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	39
再生中に操作ができない。	● ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	—
	● ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどがない場合があります。	—
タイトルを選択しても再生が始まらない。	● 視聴制限によって再生を禁止している可能性があります。視聴制限レベルの設定をご確認ください。	43
“  ”が表示される。	● 再生中のコンテンツで禁止されている操作です。	—
JPEGファイルが見つからない。	● 最大ファイル数を超過していないかご確認ください。	36
	● JPEGファイルの拡張子が(.jpg / .JPG / .jpeg / .JPEG)になっていますか？	—
再生中に一瞬画像が止まる。	● 本機で対応しているディスクかご確認ください。	22
	● ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、キズのないディスクと取り換えて再生してください。	—
	● ディスクに記録されたデータに問題がある可能性があります。	—
再生中の映像が乱れる。 再生中の映像が映らない。 再生中の色がおかしくなる。	● 早送り／早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。	—
	● 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか？	—
	● 本機とテレビの電源は入っていますか？	—
	● 接続をしている機器の接続をご確認ください。	13
	● 本機で対応しているディスクかご確認ください。	22
	● 本機が対応していないディスクや、異なるリージョンコードのディスクが入っていませんか？ - 本機が対応しているリージョンコードは、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」または「ALL」です。	22
	● テレビはHDCPに対応していますか？ - HDCPに対応していない場合、正常に映像が出力されません。お手持ちのテレビやAVアンプなどについては取扱説明書をご覧ください。	—
	● 電源を入れたまま、HDMIケーブルをテレビと本機から抜き挿ししてみてください。	—
	● 別のHDMIケーブルに取り替えて、接続しなおしてください。	—
	● “映像設定”の設定をご確認ください。	39

困ったときは・つづき

字幕が出ない。	● 字幕情報がないタイトルについては、字幕を切り換えできません。	—
AVアンプから音が出ない。	● AVアンプの電源が入っているかご確認ください。	—
	● AVアンプの出力が正しいかご確認ください。(詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。)	—
	● AVアンプがビットストリームまたはLPCMに対応しているかご確認ください。(詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。対応している場合は、本機の“HDMI設定”から“音声出力設定”を設定してください。)	—
	● AVアンプの音量を調節してください。	—
カメラアングルが切り換わらない。	● 複数のアングルが記録されていないBD-VideoまたはDVD-Videoは、アングルを切り換えられません。	—
	● カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。	—
ハイビジョン画質で見ることができない。	● ハイビジョンで記録されたタイトルかご確認ください。(ハイビジョンで記録されていない映像を、ハイビジョン画質で見ることができません。)	—
	● 本機と接続しているテレビがハイビジョンに対応しているかご確認ください。	—
ディスクの写真や画が再生できない。	● ディスクがUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで記録されたものであるかご確認ください。	—

■ CECリンク制御

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
CECリンク制御がはたらかない。	● CECリンク制御は、本機と対応機器を組み合わせて、必要な設定を行っている場合だけ使えます。	18
	● CECリンク制御が有効な状態で、本機の電源プラグやHDMIケーブルを抜いた場合は、CECリンク制御が無効となります。 → 電源コードやHDMIケーブルを接続後、“HDMI接続設定”-“CECリンク制御”の設定を一度“切”に変更して決定したあともう一度設定を“入”に変更して決定すると、再びCECリンク制御が有効になります。	18

■ その他

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
パスワードを忘れた。	● パスワード入力画面が表示されたときに、4737を入力してください。パスワードと制限設定値がクリアされます。(このパスワードは視聴を制限される方にわからないようにご注意ください。)新しいパスワードを作成し、設定しなおしてください。	44

用語説明

■ あ

インターレース(飛び越し走査)(p.40)

- テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、1つの画像(有効走査線)を1本飛ばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒(30コマ/秒)で映します。

■ か

拡張子(p.35)

- ファイル名の末尾につけられた文字列のことで、各種ファイルの属性を識別します。

■ さ

サブサンプリング(p.36)

- JPEGファイルを圧縮する処理のことで、色の情報を間引いて容量を小さくすることです。

視聴制限(バレンタルレベル)(p.40)

- デジタル放送やソフト側で設定された、視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないようにすることができます。

■ た

タイトル(p.24)

- ディスクに記録された番組などの大きな区切りのことです。

チャプター(p.24)

- タイトルの中の小さな区切りのことです。

ディープカラー(p.40)

- ディープカラーに対応した機器同士をHDMIケーブルで接続したときに、映像を高階調表示に変換してグラデーションの色の変化をなめらかに表現できる技術のことです。

トラック(p.24)

- 音楽用CDの曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

■ は

バーチャル・パッケージ(p.34)

- 一部のBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

パンスキャン(p.39)

- 標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

ビットストリーム(p.40)

- 圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

プログレッシブ(順次走査)(p.40)

- テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

ブロックノイズ(p.37)

- 電気信号の乱れにより発生するノイズの一種で、モザイク状の画像の乱れのことです。

本体ソフトウェア(ファームウェア)(p.19)

- 本機の動作に必要な処理を行うための中枢的なプログラム(ソフトウェア)です。

■ ろ

リージョンコード(再生可能地域番号)(p.22)

- BD-VideoやDVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号が分けられており、これらをリージョンコードと呼びます。日本の場合、BD-Videoは「A」、DVDVideoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生することができます。

レジュームポイント(p.36)

- 再生中に停止したときの停止位置を記憶します。

レターボックス(p.39)

- 標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向が画面いっぱいに表示され、上下方向に帯が付きま。

■ ABC

AAC(p.37)

- Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD(p.22)

- ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに記録できるように開発された規格です。

AVCREC™(エーブイシーレック)(p.22)

- デジタル放送をハイビジョン画質でDVDに記録する方式です。ディスクをファイナライズすることで、AVCREC™方式対応のプレーヤーやレコーダーで再生できます。

AVアンプ(p.14)

- 様々な音響機器、映像機器を接続し、集中的にコントロールできる機能を備えたアンプです。

CECリンク制御(p.18、40)

- HDMIケーブルを使って対応機器とつなぐことで、機器との連動操作が行えるようになる機能です。

Dolby D(ドルビーダイナミック)レンジ(p.39)

- Dolby Digitalで記録されたタイトルの音声レベルの最小値と最大値の差のこをいい、夜間などに音量を下げて小さい音にしたときでも聞きやすく再生することができます。

Dolby Digital(ドルビーデジタル)(p.14)

- Dolby Digitalは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Digital Plus(ドルビーデジタルプラス)(p.14)

- Dolby Digital Plusは、Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

用語説明・つづき

Dolby TrueHD (ドルビートゥルーエイチディー) (p.14)

- Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

DTS® (p.37)

- DTS社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD® (p.37)

- DTS®をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTS®として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

FAT16 / FAT32 (p.23)

- ファイルシステムと呼ばれるUSBメモリなど記録媒体で初期化する際に選択できるデータ管理方式です。一つの領域に確保される容量がそれぞれ異なります。

HDMI (p.13)

- High Definition Multimedia Interfaceの略で、テレビなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインタフェースです。映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続できます。

JPEG (ジェイペグ) (p.35, 36)

- Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。ファイル容量を小さくできる割に画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

LPCM

- PCMはPulse Code Modulationの略で、LPCMはデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。

MPEG (エムペグ)

- MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。

NTSC (p.22)

- 日本やアメリカなどで採用されているカラー放送方式です。ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAMなどのカラー放送方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきたDVD-Videoはこのカラー放送方式やリージョンコードの違いにより、視聴できないことがあります。

USB (p.23)

- Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインタフェースです。本機では、USBメモリを接続して、写真(JPEG)の再生ができます。

Video (ビデオ)方式

- DVDレコーダーの基本記録方式です。ディスクをファイナライズすることで市販のDVD-Videoと同じ記録方式となり、多くのプレーヤーやレコーダーで再生できます。

VR (ブイアール)方式

- DVD Video Recording formatの略で、DVDレコーダーの基本記録方式です。ディスクをファイナライズすることで、VR方式対応のプレーヤーやレコーダーで再生できます。

さくいん

■ あ

アスペクト比 46
 アンゲル
 アンゲルアイコン 33
 再生中の切り換え 33

■ い

一時停止 29

■ お

音楽用CD 23
 音声・音声言語
 音声言語設定 40
 音声設定 42
 再生中の切り換え 32

■ か

画質の切り換え(超解像設定) 33
 可変スキップ/可変リプレイ ... 29, 41
 画面表示の見かた 20
 かんたん設定 17

■ け

結露(露付き) 10
 言語コード一覧 45

■ こ

高速起動 41
 コマ送り 29

■ さ

サーチ 31
 再生設定 40

■ し

視聴制限
 BD視聴制限レベル 40, 43
 DVD視聴制限レベル 40, 43
 字幕切換 32
 初期化
 個人情報 41
 設定項目 41

■ す

スキップ 29
 スチルモード 39
 スロー再生 29

■ せ

セカンダリ音声 39
 セカンダリビデオ 34
 接続
 AVアンプ 14
 USBメモリ 25
 テレビ 13
 電源コード 14

設定メニュー

項目と設定内容 39
 設定のしかた 39

■ そ

ソフトウェア
 ソフトウェア更新 19, 41

■ ち

超解像設定 33

■ て

ディスク
 構成区分 24
 ディスクについて 22
 ディスクのメニュー 26
 ディスクを入れる 25
 ディスクを取り出す 25
 テレビ画面保護 41

■ の

ノイズリダクション 33

■ は

バーチャル・パッケージ 53
 パスワード変更 44
 早送り/早戻し 29
 早見再生(音声付早送り) 29
 バンスキャン 46

■ ひ

ピクチャー・イン・ピクチャー ... 34

■ ふ

付属品 2

■ ほ

ポップアップメニュー 26
 本体
 前面 12
 背面 12

■ み

未使用時自動電源オフ 41

■ め

メディア
 本機で使えるメディア 22

■ り

リピート再生 30
 リモコン
 乾電池の入れかた 15
 ボタン名と働き 11

■ れ

レジュームポイント
 USBメモリ 36
 レターボックス 46

■ A

AAC 53
 AVCHD 53

■ B

BD-HD 音声設定 39

■ C

CECリンク制御 18, 40

■ D

Dolby Digital, Dolby Digital Plus,
 Dolby TrueHD 53, 54
 Dolby Dレンジ 53
 DTS® 54

■ H

HDMI接続設定 40

■ J

JPEG 35, 36

■ L

LPCM 54

■ M

MPEG 54

■ S

SDカードについて 23

■ T

TV画面選択 46

■ U

USB機器
 USB機器について 23
 再生する 35
 最大認識可能数 36

maxell

日立マクセル株式会社

〒151-8527

東京都渋谷区元代々木町30-13

お客様相談センター

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル)

FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

<http://www.maxell.co.jp>